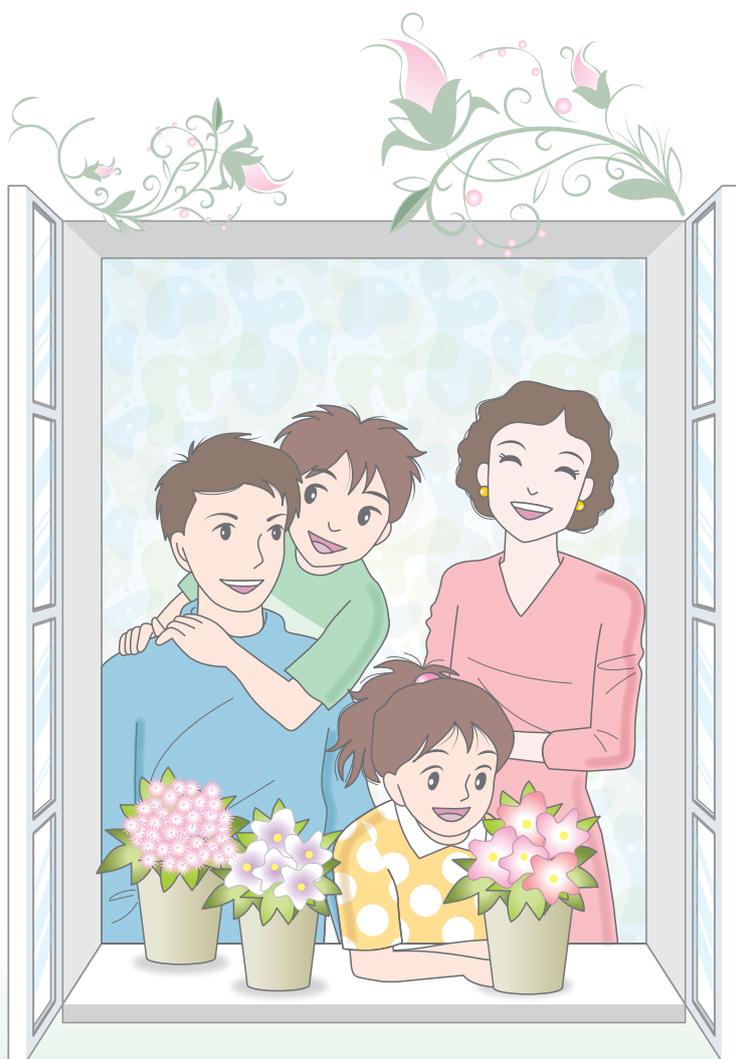


豊島区 がん対策推進計画

第3次

令和3年(2021年)3月改定



豊島区

はじめに

がんは、昭和56年に脳血管疾患を抜いて日本人の死亡原因の第1位となりました。現在、生涯のうちに約2人に1人はがんに罹患し、3人に1人はがんが原因で亡くなる時代と言われています。

豊島区においても、がんが昭和52年から死亡原因の第1位となっており、令和元年の死亡者数は、603人と、全死亡者数の25.7%を占めています。

豊島区では、がんによる死亡者数の減少をめざし、がん対策の総合的かつ計画的な推進を行うため、平成22年12月に「豊島区がん対策推進条例」を制定しました。その具体的な施策の実現のため、平成23年3月に「豊島区がん対策推進計画」を策定し、先進的にがん対策の推進に努めてまいりました。

平成28年度からは「豊島区がん対策推進計画（第2次）」により計画を進めてまいりましたが、その間に、平成28年のがん対策基本法の改正、その後に改定された国の「がん対策推進基本計画（第3期）」や「東京都がん対策推進計画（第二次改定）」の内容を踏まえて、より総合的で、かつ広い視野をもった対策を推進していくために、この度「豊島区がん対策推進計画（第3次）」を策定いたしました。

本計画では、これまで中心的な施策であった、「がん検診の推進」「がんの予防・普及啓発」「がん患者と家族の支援」に、新たに「ライフステージに応じたがん対策」を加えて4つの柱とし、かけがえのない区民の命を守り、がんに負けることのない社会の実現をめざしてまいります。

さらに、本区は令和2年7月に内閣府よりSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）への優れた取組を行う自治体として、「SDGs未来都市」に選定されました。その中で、特に先導的な取組として「自治体SDGsモデル事業」にも選定されました。ダブル選定は東京都初となります。本計画を推進していく中で、「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉の促進」を目指していきます。

結びに、本計画の策定にあたり熱心にご審議いただきました「豊島区がん対策推進会議」の辻井俊彦会長をはじめ委員の皆様、また、多くの貴重なご意見をいただきました関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

令和3年3月

豊島区長

高野之史

目次

第1章 計画策定にあたって	1
I 計画の策定背景、計画の位置づけ、計画の期間、計画の構成	2
II 豊島区の状況	
1. 豊島区の人口.....	5
2. がん等の疾病動向.....	7
3. がん検診実施及び受診状況.....	11
4. がんによる医療費.....	12
III がん対策推進計画の目標（基本理念・基本方針）	13
IV がん対策の推進における4つの柱	14
V 重点的に取り組む課題	15
第2章 分野別施策	21
I がん検診の推進	22
1. 実施すべきがん検診.....	23
2. がん検診受診率の向上.....	26
3. がん検診の質の向上.....	34
4. 検診受診率向上に伴う財政負担の想定.....	40
II がんの予防・普及啓発	43
1. がんに関する正しい知識の普及.....	44
2. 生活習慣の改善.....	45
3. がんの発症予防及び前がん状態での早期発見.....	48
4. 喫煙による健康被害の予防.....	53
III がん患者と家族の支援	59
1. がん情報に関する情報提供.....	60
2. がん患者や家族の不安軽減.....	62
3. 緩和ケアとがん地域医療連携の推進.....	64
IV ライフステージに応じたがん対策	73
1. 小児・AYA世代に対する支援.....	73
2. 働く世代に対する支援.....	76
3. 高齢者に対する支援.....	81
V 分野別施策の成果指標	82
第3章 計画の推進に向けて	85
資料編	89



TOSHIMA
CITY

豊島区がん対策推進計画

〈第3次〉

令和3年(2021年)3月改定

編集・発行 豊島区 保健福祉部 地域保健課

TEL (03)3987-4243